



プロバスだより

第327号

2023年2月9日発行

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立1995年10月18日

2022～2023年度 テーマ

プロバスライフを元気に楽しむ すこしずつ動きだそう

第327回例会

日時 令和5年1月12日(木) 12:00～14:00

場所 八王子エルシィ

出席者 35名 出席率 74.5%

(会員総数 50名、欠席12名、休会3名)

1. 開会

塩澤委員

第327回例会開催を告げ、配付資料の確認が行なわれた。

2. 会長挨拶

池田会長

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。まだ通常の新年会はできませんが、お正月らしい昼食を用意していただきました。例会委員会のご配慮に感謝します。



昨年は全日本プロバス協議会全国大会という大きな行事があり、会員の皆さんに大変なお骨折りをおかけし、ご協力をいただきました。改めて御礼申し上げます。

1月からの年度後半は会の足元固めに注力し、会員の減少やコロナの状況等に対応した予算の執行と次年度へ向けての検討、さらには各委員会活動の課題を探り、同好会活動の再開など、本来のプロバス活動を目指したいと思います。

さらに、会員相互の交流と息抜きになるような「小さなお楽しみ」を提案していきますので、どうぞご参加ください。今回は美術鑑賞会からのご案内です。

これから新年例会の卓話として郷土資料館学芸員的小林央様に地元八王子の歴史についてお話をさせていただきます。

3. ハッピーコイン披露

持田副会長からハッピーコイン17件の披露がありました。(3～4ページに掲載)

4. バースデーカード贈呈

1月生れの会員に会長手作りのバースデーカードが贈られました。



写真左から会長、下山邦夫会員、武田洋一郎会員、大野教子会員、土屋三千代会員、河合和郎会員

5. 1月のラッキーチャンス

今月のラッキーチャンスの当選者は阿部治子会員、大野教子会員、深谷正徳会員の3名でした。

なお、佐々木秀勝会員より差し入れがありましたので、併せて抽選で会員にお渡ししました。

6. 卓話 <新年特別講話>

はるかなる八王子～八王子の歴史

～縄文時代から戦国時代

講師 八王子郷土資料館 学芸員 小林 央 氏

ビデオ映像を使用し、八王子の歴史について解説して頂きました。主として古代の遺跡を中心に、北条家の盛衰についても触れて頂きました。

その概要を掲載します。

1) 旧石器時代では、多摩ニュータウン遺跡、小比企

向原遺跡から陶器類が発掘されたこと。

2) 縄文時代では、栲田遺跡、滑阪遺跡などが発掘された。特に川口町宮田遺跡唐発掘された「子抱き土偶」は大変珍しい遺物であること。

3) 弥生時代では宇津木向原遺跡は「方形周溝墓」のほか装飾品なども発掘された。

4) 奈良・平安時代では横山に牧があったことが推測されるとのこと。万葉集には「赤駒を山野に放し捕りかにて多摩の横山 徒歩ゆか遣らむ」とある。

5) 中世では、鎌倉時代から戦国時代にかけてのお城の浮沈や北条氏の活動、八王子城の落城の有様などを話されました。

最後に、資料館よりお持ちいただいた発掘土器を鑑賞させて頂きました。



7. 幹事報告

・コロナの第8波が高い水準になっています。市からの感染者数の発表は昨年8月からなくなりましたが、病院の逼迫状況を見るとリスクが高まっています。是非お互いに気を付けて活動しましょう。

・クラブの運営資金が減少していることは昨年も報告しました。5~6年前には70名あった会員数が現在50名になっていることから、年間で50数万円の収入減になっています。このため以前と同じ水準での活動が難しくなっているのが実態です。繰越金がありますから数年は維持できますが、中長期的に見て、クラブの運営の在り方を考える時期に来ています。そのため今期後半に検討会の発足を計画しています。

・今期も半分経過しましたので、次年度に備えて各委員会の活動を振り返ってみたいと考えています。

・3月19日に予定されている音楽祭は地域奉仕委員会が中心で計画されていますが、クラブ全員の参加で成功させたいと思います。ご協力をお願いします。

・今月、情報委員会から「八王子2022」大会の特集号が発行されました。大変うまくまとまっておりますので良い記念号になりました。参加できなかった方々にも参考になります。

8. 各委員会からの報告

(1) 情報委員会

河合委員長

お手元にプロバスだより第326号と「2022八王子大会」の特集号をお届けしました。

プロバスだよりは特別の事業や投稿がありませんでしたので4ページ建になりました。編集担当は有泉委員でした。11月に開催された全国大会の特集号は写真で大会の様子や高尾山のエキスカッションの様子を収録して6ページ建としました。

12月のホームページへのアクセス数は338件で、前月比16件の微増でした。

毎回申し上げますが、プロバスだよりへの投稿をお待ちします。

(2) 会員・研修委員会

杉山委員長

研修委員会より老年研究会の登録会員さんのBOXに、1月~2月の開催案内を入れておきました。ご都合のつく各位のご参加をお待ちしています。

会員委員会としては、池田会長年度後半期の中で増員計画の実現に向けて努力を重ねて参ります。ご協力のほどよろしく願いいたします。

(3) 地域奉仕委員会

馬場委員長

小・中学校音楽祭の進捗状況を報告します。

1) 各学校の教諭・生徒・父兄に配布予定のチラシ(案)50枚が出来上がりました。武田副委員長のデザインによるものです。関係する役所、団体等及び参加校への説明等に利用する予定です。

2月例会には校正後の正式版を配布予定です。

2) 1月20日(金)に出場9校との事前打ち合わせをいちょうホール会議室で行います。顔合わせや確認事項等がテーマです。上記チラシ(案)も参考配布します。

3) 関係諸機関への届出や手続き(後援名義、協賛金受領、共催協力依頼等)を1月中に完了させるべく準備中です。

(4) 宇宙の学校

下山PJリーダー

「宇宙の学校」は今年度の事業を終え、新年度に向けた計画を検討しています。令和4年度はコロナの感染防止に重点を置き、規模を縮小して実施しま

した。その結果、多くの参加希望者をお断りすることとなりました。

令和5年度はウイズコロナの下で、安全を確保しながら規模の拡大を含めて検討中です。今後とも会員の皆さんの御協力をお願いいたします。

(5) 交流担当 一瀬会員

「東京八王子 2022」全日本プロバス協議会第10回総会・東京八王子大会にいくらお金がかかったかですが、290万円規模の事業でしたが、結論としてクラブにお願いする金額は18万円程で済みそうです。当初見込みより大幅に縮小することができました。

それは①M I C Eからの助成金。②欠席会員も参加費をご協力いただいたこと。③会友として市民の皆様のご協力があつたこと。④会員からの酒類の提供。などいろんな施策、コスト削減努力の成果であり、改めて皆様にお礼申し上げます。

また16回目になる最後の実行委員会で総括の機会を持ちましたが、本大会のキャッチフレーズ、コンセプトに挙げた「交流と学びの融合」やコホスト体制、八王子日本遺産の訴求など、いずれもみるべき成果を上げることができました。

その半面、①一部の方に資料が行き渡らなかったこと。②配布資料の説明不足。③会議等の進行のイレギュラーへの対処。④最後のお見送りが組織的にできなかったこと。などが反省点として挙げられましたので、今後を活かしたいと思います。

全日本プロバス協議会幹事長報告

全日本の会長クラブとして新執行部が発足して1か月余り基本的なインフラ整備から始めておりますが着実に進めてまいりたいと考えております。また幹事長報告を例会時の報告件名の一つに加えていただきました。八王子と全日本のつながりが見える形にしていく努力をしてまいります。

この間の大きなトピックスは会員交流誌「ひろば」の発刊と賛助会員の募集でありました。

ひろばは会員クラブの大事なコミュニケーションツールですので短期間でしたが全力で仕上げました。

賛助会員の登録は財政基盤安定のために必須ですので力を入れて取り組んでまいります。昨年末の例会でもお願いいたしました。会員の皆様のご理解、ご援助を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

9. プロバス賛歌斉唱

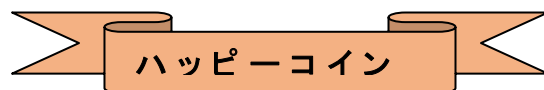
10. 閉会挨拶

持田副会長

・1月の例会がコロナ禍のなか、良く開催できたと思います。しかし、注意しながら、一堂に会することは素晴らしいことです。お互いに元気がもらえ、元気を与えることができます。

・本日の卓話は、八王子郷土資料館学芸員の小林央氏による「はるかなる八王子～縄文時代から戦国時代」でした。先土器時代から八王子城の落城までの長い歴史を、我々が馴染んでいる地名を紹介しながら話して頂いたので、八王子の新しい発見がありました。

・クラブ活動も徐々に再開され、ほぼ正常に戻りつつあります。しかし、コロナの感染に対しては、無症状の感染者がいることにも十分注意して、進めていただきたいと思います。また元気にお会いしましょう。



◆明けましておめでとうございます。「宇宙の学校」も新年度の計画を固めつつあります。今年も頑張りましょう。 下山 邦夫

◆今年もよろしくお願ひ致します。 戸田 弘文

◆明けましておめでとうございます。様々な問題の存する世相ですが、ウサギにあやかり大きく飛躍したいものです。本年もよろしくお願ひ致します。

山口 三郎

◆86回目の誕生月を迎えられ、何よりの幸せです。誕生カードも10枚を越えました。あと10枚……は無理としても卒寿を目指してあと4枚。池田会長頑張ってください。

河合 和郎

◆今年の干支は「うさぎ」です。私は7回目のうさぎ年を迎えました。ウサギは「とびはねる」と言われています。私も今年は大いに「とびはね」て活躍します。

井上 克

◆コロナに暮れて、コロナで明けた新年ですが、今年も元気なプロバスライフの一年でありますように、只々祈るばかりです。

杉山 友一

◆本日の卓話は新年特別プログラムで少し時間延長となります。八王子の縄文時代から戦国時代までの歴史を振り返ります。どうぞご期待下さい。

杉山 友一

◆新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく。欠席の方は早めに連絡して下さい。

野口 浩平

◆21月11日国立競技場に初めて入場します。オリンピック開会式場をいつかは見てみたいと思っていました。機会が来ました。ゼロックススーパーカップの試合でヴァンフォーレ対横浜マリノスの試合です。今から楽しみです。

飯田富美子

◆今年是我が家の孫達が入学ラッシュです。小学校入学2名、中学1名、高校1名です。ばあばとしてうれしい悲鳴です。出費がいかばかりか？

飯田富美子

◆明けましておめでとうございます。コロナともうまくつき合っている年になるといいですね。会員の皆様の幸せを祈って！！

一瀬 明

◆正月、高尾山頂からの富士山がきれいでした。全日本のホームページトップの写真、ダイヤモンド富士にしました。Hご覧になって下さい。

一瀬 明

◆令和5年。今年こそ平穏な年でありますように！

有泉 裕子

◆新年おめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

杉田 信夫

◆2022年12月29日、全国誌Y新聞の英語クロスワード、略称「英クロ」の当選通知が届く！！ハッピー。毎週はがきで解答を投函。辞書にもない難解な単語もあり、ネットで検索することも。前回当選は2016年7月、実に6年振りの「ラッキー。過去には二人の知人の名が誌面に掲載された。一人は在職中に国の事業のシステム開発で苦楽を共にしたS君、もう一人は当クラブ元会員の矢崎安弘氏、同好の士として意外なところで繋がっていました。

武田洋一郎

◆新年おめでとうございます。「冬過ぎて 春し来たれば 年月は 新になれど 人はふりゆく」

万葉の古人の心境です。

内山 雅之

◆私事ですが、年末に家内がコロナ陽性になり、私は濃厚接触者となり（幸い陰性でしたが）一週間自宅自閉となりました。お正月のおせち料理があり、食い継ぎましたが、食べ飽きた。食品を買うことを覚え、生きながらえました。

Un-happy のあとはHappy があるものと信じて、良い年になることを祈ります。今年も宜しく願います。

持田 律三

私の一句〈一月の句会から〉

河合 和郎

コロナの発症から丸3年が過ぎた。人の流れは元に戻りつつあるが、病院は相変わらず逼迫し、死者の数も多くなっている。今年こそ安心して人と会えること、切なる願いである。

福笑孫笑ふなら何度でも

田中 信昭

楽しい正月風景。孫の喜ぶ顔に何度も「福笑い」を繰り返すお爺ちゃん。とにかく可愛いのである。

初日の出一斉に舞ふ群れ雀

下山 邦夫

初日の中に散るように舞い上がる雀の群。一瞬の動を一句の中に展開した。躍動の初春が描けた。

早朝の色なき庭に梅一輪

飯田富美子

冬の庭は荒涼として色彩に乏しい。作者は小さな梅の一輪に色を見た。きっと今日も冬晴だろう。

成人式十八歳のあどけなさ

馬場 征彦

成人年齢が18歳に引き下げられて初めての成人式。まだまだあどけなさの残る顔も……と作者。

年賀状疎遠の友の無事を知る

野口 浩平

先ずは元気でよかった。年々賀状の数が減っていくのが現実。生きるとは別れ繰り返すことなのだ。

息白し荷馬車の馬も馬方も

東山 榮

荷馬車を知る世代は少ない。平成・令和の世代ではもう無理。90翁の若かりし頃の追憶の一句。

林檎剥く妻の背丸き寒さかな

矢島 一雄

妻の丸い背中に寒さを見た作者。穏やかな日常から生まれた佳句。これも追憶の一句かもしれない。

暦早や書き込み多き睦月かな

池田ときえ

予定があることは良いこと。ぼんやりしていると体も気も緩む。手帳が一杯の人の方が長生きとか。

老いの意気背筋伸ばして初参

河合 和郎

気持ちだけは幾つになっても若くありたいと願いつつ今年も挑戦。しかし願望と現実の落差は大。

編集後記

元会員の山形忠顯氏が令和4年秋の叙勲に際して瑞宝中綬章を受賞されました。プロバスクラブのお仲間として、心からのお祝いを申し上げます。

コロナの状況ははっきりしません。お互いに十分気を付けましょう。 情報委員会

